

2017 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/3月19日
天候/晴れ 路面状況/ドライ
Report&Photo//月刊 JAPAN KART



▲◀ HDX OPEN クラスに参戦する佐藤那未が総合優勝。スポーツカートから参戦し、確実に腕を磨いてレベルアップを重ねてきた。ちなみに5月で19歳の誕生日を迎えるという最速女性ドライバー

今年で8周年を迎えるジャパンカートカップ。開幕戦の舞台は今年も筑波サーキットが務める。

さて、今シーズンは若手選手が数名、スーパーカートカップへステップアップしていき、そして新しいニューフェイスも加わってきて、少し新陳代謝が進んだようだ。

12時過ぎにスタートした決勝。このところ、寒暖の差が激しい日が続いていたが、この日は若干、風が強いものの春本番までもう少しという穏やかなコンディションとなっていた。

レースは快調なペースで周回を重ねていくオープンクラスの佐藤那未が主導権を握る展開が続く。

佐藤はそのまま危なげなくまとめ上げていくと、54周を数えたところでトップチェッカー。HDX オープンでのクラス優勝と共に総合優勝も手にした。総合2位に入ったのはYZ85からクラスアップしたYZ125クラスのmoonraker (東海林 茂& 深沢数人)、総合3位は佐藤のチームメイトでもあるオープンの横堀紀之となった。



▲ KT100 クラスに初参戦した清水海七都 (みなと) 選手。4月で中学2年生になる若手のホープドライバー

▼ 総合3位はベテラン横堀紀之。セットを外したというが、それでも3位にしっかりと食い込んでみせたのはさすがだ



▲ YZ125 クラスでクラス優勝した moonraker は二人体制でのチーム。目標は完走とのことだったが、その目標を大きく上回るクラス優勝、そして総合2位。次回は総合でのトップを狙う!

